

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語は全国を下回る平均正答率となっています。その中で、言語の特徴や使い方に関する事項の「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる」ことは全国と同程度であり、日頃から児童の基礎学力の定着を意図して課題学習に取り組んできた成果の表れと考えられます。一方で、話の中心が明確になるように話の構成を考えることや、筋道の通った文章となるように文章全体の展開を考えることに課題がみられます。
- ・算数も全国を下回る平均正答率となっています。「測定」の「情報をもとに数量の関係に着目して条件に合う時間を求める」ことは全国と同程度でした。一方、特に「図形」について知識や理解が弱い傾向がみられ、図形を構成する要素に着目して長さを捉えたり、条件を基にして数量を求めたりすることなどに課題がみられます。
- ・国語・算数ともに、無解答率が高い傾向がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に起きている」「先生はよいところを認めてくれている」「先生は分かるまで教えてくれている」「人の役に立つ人間になりたい」について高い割合を示しています。
- ・課題となる項目
「スマートフォン等でSNSや動画視聴を普段3時間以上する」とした児童の割合が全国に比べて高いです。
「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している」「学校の授業以外に普段1時間以上勉強する」とした児童の割合が全国よりも低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・児童が主体的に学習課題に取り組む場面を設定することを通して、探究心を育てるとともに、最後までやり抜こうとする姿勢や、努力したことへの充実感および達成感の向上を図っていきます。
- ・自分の考えを言葉で伝えたり文章で表現したりする場면을授業の中に多く取り入れながら、話を構成する力や展開を考える力を育てていきます。
- ・子どもたちが自由に発想できるような学習の場면을今後も取り入れ、多面的なものの見方や考え方を伸ばしていきます。
- ・家庭と連携をとりながら、課題学習や復習に自ら取り組めるように児童に働きかけ、学習の習慣化や基礎学力の定着と向上を図っていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・家庭学習に取り組んでいる子どもに対して、学習の習慣化と意欲の向上ができるように、賞賛や励ましの声かけをしてあげてください。
- ・子どもの時間の使い方を把握し、スマートフォンやゲーム等についての「家庭でのルール」を親子で確認し、守れるように見守ってください。
- ・子どもの話に耳を傾け、よき聞き手や相談相手になるとともに、親子で共有する時間を大切にしてください。